

---

# 関羽に憑依！・・・えっ、愛紗？誰それ？

ぱっつあん

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

関羽に憑依！・・・えつ、愛紗？誰それ？

### 【Nコード】

N0803Y

### 【作者名】

ぱつつあん

### 【あらすじ】

気がつけば俺は『関雲長』に憑依していた。まあ、それは別にいいさ。しかし！……何故、関羽が女なんだ！？ この物語は関羽に憑依して進む物語です。

# 1 1『関羽に憑依した者』（前書き）

あんまり原作キャラに憑依というのを見たことがなかったので、  
やってみました。

まあ、私が見たことがないだけなのかもしれませんが……。  
では、どうぞっ！！

当初の予定と変更したため、内容が大幅に変わっています。

## 1 1 『関羽に憑依した者』

「この数相手じゃあ、いくら関雲長といえど敵いはしまいっ！」

静かに吹き抜ける風が黒髪を揺らす。

木陰の出来た背凭れにするにはちょうどいい木を背凭れにしながら、俺は澄みきった青空を見上げている。

いつの時代も、どうやらこの青空だけは、変わってはくれないらしい。

それを嬉しく思う反面、そんな感傷に浸る俺の耳に聞こえてきた不粹な声に不満を隠すことなく、俺は視線を声の方に傾けた。

そこにいたのは武器を構えたかなりの数の族だった。

やれやれ……何であれだけこらしめたってのに、懲りていないのやら。

「あまり騒ぐな。鬱陶しい」

「おいおい、この人数を前にして怖じ氣ついてんじゃねえのか？  
いくらお前でもこの数相手にゃあ手も足も出まい」

「はあ……。貴様らは、本当にそんなことを思っているのか？  
だとしたら、滑稽だな」

「強がりはそのままでしておけよ。抵抗しねえってならそうだな……  
見た目はいい女だし、遊んでやらなくもないぜ？」

気味の悪い笑みを浮かべながら、その俗の筆頭らしき男が俺の体をいやらしい視線で撫で回す。

気持ちの悪いことこの上ない。何故男という生き物は、女をそのようにしか見れないのか。

それに、数にものを言わせなければ俺一人も相手にできないよう

な奴に、なびくつもりは毛頭ない。

ため息を一つだけつき、俺は立ち上がる。

「なんだ？ 観念する気にでもなったか？」

「観念する？ 笑わせるな下郎め。貴様ら程度にそのようなことをしてもらう必要はない」

「ケツ。生意気な女だ。だったら、無理矢理ひんむいてやるよ」

機嫌を悪くした男はそう吐き捨て、俺の周りに族共が群がり始めた。

改めて数を数えてみるが、全部で十六人。

……さすがにこんな数の男に蹂躪されるというのは、洒落にならないかもしれないな。

もつとも。そんなことをさせる気など、毛頭ないのだけれどな。

俺は木に立て掛けていた愛用の武器、『青龍堰月刀』を片手で持ち、構える。

「デメエ……嘗めてんのか？」

「お前ら程度に、両手で構える必要はないと思ったただけだ。それと……」

俺はそこで言葉を一旦切ると、周りの族共を一人ずつ見ていく。

そして一回だけ鼻を鳴らすと言葉を放つ。

「俺は男よりも、女の方が好きだ」

「……は？」

俺の発言に毒気を抜かれたのか、はたまた純粹に戦意を失ったのかは分からないが、一気に隙だらけになる。

それをわざわざ見逃すはずもなく、俺はそいつらに一閃、堰月刀

を振り抜いた。

一閃ずつではなく、文字通り一閃。一振りで十六人族を蹴散らした。

別に大したことじゃない。この程度の賊が相手なんだったら、二十人も三十人も同じようなものだ。

俺は一回だけ息を吐き、堰月刀を肩に担ぐ。

「さて……次はどこに向かおうか」

俺は誰に言うわけでもなく、ただ虚空に向かって呟き、荒れ果てた荒野を歩き出す。

桃香様と鈴々は元気にしているだろうか……。

俺がいないと何をしでかすか分かったものじゃないからな。

まあ、心配したとしても始まらないか。今はこの一人旅で強くなるしよう。

我が名は関羽、字は雲長。真名は愛紗。

どんな現象が起こったかは未だに分からないが、俺は現代からこの女だらけの三國志の関雲長に憑依してしまった元男だ。

## 1 1 『関羽に憑依した者』（後書き）

まずこの関羽（愛紗）は既に劉備（桃香）と張飛（鈴々）と出会っています。

今は武者修行のため、二人とは別行動をとっています。

また、これは原作の数年前から始まります。

そして最大の変更点は……北郷一刀を『蜀』から『魏』に移したことです。

やってみたかったです。

愛紗（現代知識有り）と『魏』の北郷一刀の戦いをつ！

ただ、このままだとガチンコで戦ったら武力の差で愛紗が勝ってしまうので、この原作前で一刀君にも戦うための布石を打っておきます。

それが何なのかは楽しみにw w

次回、『関羽、三羽鳥と出会うのこと』ちえりおw w

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0803y/>

---

関羽に憑依！・・・えっ、愛紗？誰それ？

2011年10月31日14時34分発行